

## 第1回経営協議会議事要旨

日 時 平成25年6月25日(火) 15:00～17:07

場 所 柏原キャンパス事務局棟小会議室

出席者 長尾学長

梶本, 小田, 高橋, 俵, 辻井, 栗林, 若井, 越桐, 成山, 宮崎

以上各委員

陪席者 野口監事

開会に先立ち、委員の変更があったため、長尾学長より委員の紹介がなされた。次に、議事の進め方について、開催通知の順番に進める旨の説明が行われ、引き続いて、平成24年度第5回経営協議会記録(案)の確認が行われ承認された。

### 議題(1) 平成24年度決算について

長尾学長及び宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

#### 【主な質疑】

- ・当初6年間の予定とされていた運営交付金の1パーセント削減はまだ続いているか。また、続いているとするといつまで続く見通しかとの質疑に対して、運営費交付金削減は実質的にはまだ続いており、今後の見通しはまだ分からないとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・決算監査であずさ監査法人から何か意見はあったかとの質疑に対して、池田にある宿舎について、入居率50パーセントを満たしておらず、減損の兆候があるとの意見があったとの答弁が栗林理事よりなされた。

### 議題(2) 平成25年度予算(第一次補正について)

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

### 議題(3) 平成26年度概算要求について

宮崎管理部長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

### 議題(4) 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、質疑応答の結果、原案どおり了承された。

#### 【主な質疑】

- ・小学校の英語必修化に伴い、グローバル化について抜本的な改革を行う必要がある。今後、子どもを育てることを考えた時、英語は必須であるので、改革を行わなければ、特に小学校の教員市場では他大学に遅れをとることになるとの意見に対して、改革は必要であると考えている。現在、HATOプロジェクトの一環で、附属の教員を20名程度カナダに連れていく予定をしており、また、英語の授業を増やし、ネイティブの教員も毎年1人は採用するようにするなど、グローバル化に努めているとの答弁が長尾学長よりなされた。

- ・語学の授業について、他大学では、週2回の授業では少ないので、100人の学生を集め、その保護者にお金を工面してもらい、2年間週4回の語学の授業を追加することで、一定の成果を挙げている例があるとの意見があった。
- ・ある程度民間に委託することも考えてもよいと思う。高等学校のグローバル化も重要であると考えてるので、大学と同時に附属学校でもグローバル化の改革に取り組んでいくべきであるとの意見があった。

#### 議題（5）大学機関別認証評価自己評価書について

若井理事から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

##### 【主な質疑】

- ・認証評価の意義について、外部機関に評価してもらうことは大学にプラスになるのか。このシステム自体必要なのかどうかに疑問を感じるとの意見に対して、現状では認証評価は評価結果をフィードバックし、大学をより良くするためのものではなく、認証評価を受けることにより、大学として認められるというシステムであるとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・評価書はどこまで配っているのかとの質疑に対して、本学教職員すべてが見られるようになっているとの答弁が長尾学長よりなされた。

#### 報告事項（1）平成24年度資金運用について

宮崎管理部長から資料に基づき報告がなされた。

#### 報告事項（2）科学研究費補助金等について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

##### 【主な質疑】

- ・外部資金の獲得について、教員メッセを開催し教員のセールスを行うなど、積極的に働きかけをすべきであるとの意見に対して、受け身にならず、こちらから売り出して行くことはすべきであると考えているとの答弁が長尾学長よりなされた。
- ・大学の宣伝のため、学長が定例記者会見をしてはどうかとの提案があった。

#### 報告事項（3）ミッションの再定義について

長尾学長から資料に基づき報告がなされた。

##### 【主な質疑】

- ・大学が生き残るためには輩出する学生の質が重要になってくる。マネジメント力やコミュニケーション力を十分身につけた学生を輩出することが必要であるとの意見があった。

次回は、平成25年11月26日（火）の15時に開催することとなった。

以上